

島根県 リスキリングに関する企業の意識調査

『リスキリングに積極的』は 23.3%にとどまる ～時間や人材、スキル・ノウハウ不足が課題～

はじめに

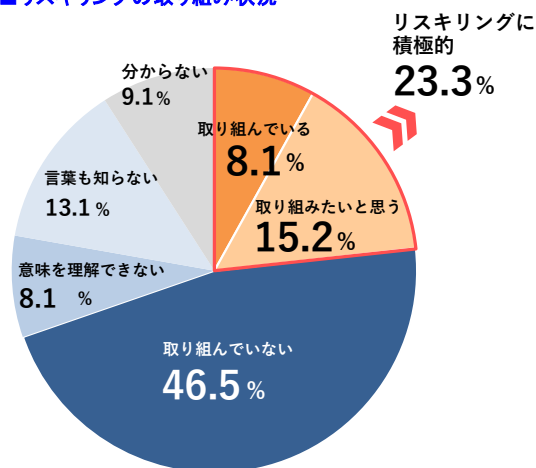
人手不足が深刻化するなか、「人への投資」による生産性向上は、企業経営にとって看過できないテーマとなっている。賃上げ機運が高まるなか、人材の確保・定着に欠かせない賃上げ原資を確保するためには、1人当たりの労働生産性を高めることが求められている。

リスキリングとは、「新しい職業に就くために、あるいは今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること」で、世界経済フォーラムにおいては、2018年から3年連続でリスキリングセッションが開催された。

日本では「骨太の方針」に盛り込まれ、2022年に岸田前首相がリスキリング支援として5年間で1兆円を投じると表明し、政府も助成金などあらゆる支援策を積極的に講じている。石破首相の所信表明演説でもその重要性が触れられるなど、近年より一層注目度が高まっている。

そこで、帝国データバンク松江支店では、リスキリングに関する企業の意識などを集計・分析した。調査期間は2024年10月18日～31日、調査対象は島根県に本店を置く企業290社で、有効回答企業数は99社（回答率34.1%）。

■リスキリングの取り組み状況



調査結果（要旨）

1. リスキリングに「取り組んでいる」企業は8.1%、「今後、取り組みたいと思う」企業は15.2%で、これらを合計した『リスキリングに積極的』な企業は23.3%にとどまる
2. リスキリングの取り組み、「従業員のスキルの把握、可視化」が60.9%で最も高く
3. リスキリングに取り組む上での課題、「必要なスキルやノウハウがない」が35.4%でトップ

1. 『リスキリングに積極的』、23.3%にとどまる

島根県の企業に対して、リスキリングの取り組み状況について尋ねたところ、「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」が構成比 8.1% (8 社)、「言葉の意味を理解し、取り組みたいと思っている」が 15.2% (15 社) となり、これらを合計した『リスキリングに積極的』は 99 社中 23 社、構成比 23.3% にとどまった。

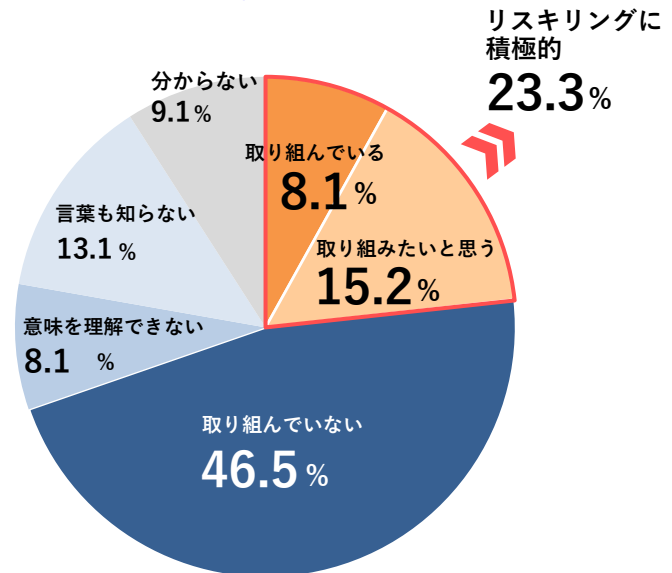
一方、「言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない」が 46.5% (46 社) で最も高かった。また、「言葉は知っているが、意味を理解できない」は 8.1% (8 社)、「言葉も知らない」は 13.1% (13 社)、「分からない」は 9.1% (9 社) だった。

全国と比較すると、『リスキリングに積極的』では、『全国』(構成比 26.1%・2905 社) を 2.8 ポイント下回った。

規模別でみると、『リスキリングに積極的』では、『中小企業』が構成比 23.7% (22 社)、『小規模企業』が 17.9% (7 社)、『大企業』が 16.7% (1 社) となった。一方、「言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない」では、『大企業』(83.3%・5 社)、『中小企業』(44.1%・41 社)、『小規模企業』(38.5%・15 社) の順に高かった。

業種別(母数 3 社以上) でみると、『リスキリングに積極的』では、『運輸・倉庫』(構成比 75.0%・3 社) が最も高く、『製造』(27.6%・8 社)、『サービス』(26.7%・4 社) が続いた。

■リスキリングの取り組み状況



■リスキリングの取り組み状況

(構成比%、カッコ内社数)																
	言葉の意味を理解し、 取り組んでいる		言葉の意味を理解し、 取り組みたいと思っ ている		リスキリングに 積極的		言葉の意味を理解し ているが、取り組んで いない		言葉は知っているが、 意味を理解できない		言葉も知らない	分からない	合計			
全国	8.9	(990)	17.2	(1,915)	26.1	(2,905)	46.1	(5,133)	9.5	(1,055)	10.1	(1,123)	8.2	(917)	100.0	(11,133)
島根	8.1	(8)	15.2	(15)	23.3	(23)	46.5	(46)	8.1	(8)	13.1	(13)	9.1	(9)	100.0	(99)
大企業	0.0	(0)	16.7	(1)	16.7	(1)	83.3	(5)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(6)
中小企業	8.6	(8)	15.1	(14)	23.7	(22)	44.1	(41)	8.6	(8)	14.0	(13)	9.7	(9)	100.0	(93)
うち小規模	5.1	(2)	12.8	(5)	17.9	(7)	38.5	(15)	5.1	(2)	23.1	(9)	15.4	(6)	100.0	(39)
農・林・水産	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(1)	0.0	(0)	100.0	(1)
建設	0.0	(0)	16.7	(2)	16.7	(2)	33.3	(4)	8.3	(1)	33.3	(4)	8.3	(1)	100.0	(12)
不動産	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(1)
製造	6.9	(2)	20.7	(6)	27.6	(8)	41.4	(12)	10.3	(3)	10.3	(3)	10.3	(3)	100.0	(29)
卸売	13.0	(3)	8.7	(2)	21.7	(5)	47.8	(11)	8.7	(2)	13.0	(3)	8.7	(2)	100.0	(23)
小売	0.0	(0)	7.7	(1)	7.7	(1)	53.8	(7)	7.7	(1)	15.4	(2)	15.4	(2)	100.0	(13)
運輸・倉庫	50.0	(2)	25.0	(1)	75.0	(3)	25.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(4)
サービス	6.7	(1)	20.0	(3)	26.7	(4)	66.7	(10)	6.7	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(15)
その他	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(1)	100.0	(1)

注1: 網掛けは、島根県の全体以上を表す

注2: 全国の母数は、有効回答企業1万1,133社。島根は99社

2. 現在の取り組み内容、「従業員のスキルの把握、可視化」が 60.9%

リスキリングに取り組んでいる企業に対し、現在の取り組みを尋ねたところ、

「従業員のスキルの把握、可視化」が構成比 60.9% (14 社) で最も高く、6 割以上になった (複数回答、以下同)。

次いで、「就業時間内におけるリスキリングの実施」が 39.1% (9 社)、「経営層による新しいスキルの学習、把握」「経営層から従業員に学習が必要なスキルを伝達」がそれぞれ 34.8% (8 社) となり 3 割を超えた。

以下、「新規事業の創出を

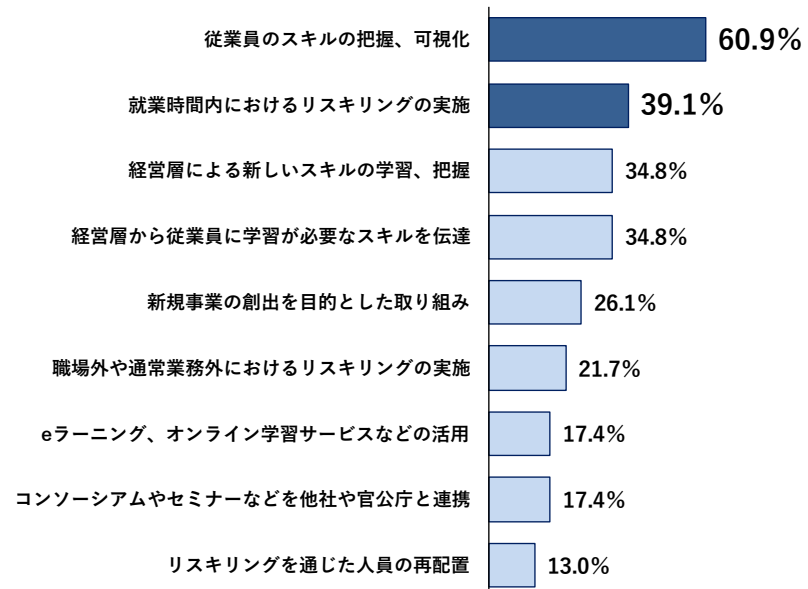
目的とした取り組み」が 26.1% (6 社)、「職場外や通常業務外におけるリスキリングの実施」が 21.7% (5 社)、「e ラーニング、オンライン学習サービスなどの活用」「コンソーシアムやセミナーなどを他社や官公庁と連携」がそれぞれ 17.4% (4 社)、「リスキリングを通じた人員の再配置」が 13.0% (3 社) となった。

「従業員のスキルの把握、可視化」について、全国と比較すると、『全国』(構成比 52.1%・1514 社) を 8.8 ポイント上回った。

規模別でみると、『大企業』(構成比 100%・1 社)、『中小企業』(59.1%・13 社)、『小規模企業』(42.9%・3 社) の順に高かった。

業種別 (母数 3 社以上) でみると、『サービス』(構成比 75.0%・3 社) が最も高く、『製造』(62.5%・5 社)、『卸売』(60.0%・3 社) が続いた。

■現在の取り組み内容



注：母数は、リスキリングに「積極的」と回答した23社

■現在の取り組み内容

(構成比%, カッコ内社数)

	経営層による新しいスキルの学習、把握	経営層から従業員に学習が必要なスキルを伝達	eラーニング、オンライン学習サービスなどの活用	コンソーシアムへの参画、他社のセミナーへの参加など他社や官公庁との連携	従業員のスキルの把握、可視化	就業時間内におけるリスキリングの実施	職場外や通常業務外におけるリスキリングの実施	リスキリングを通じた人員の再配置	新規事業の創出を目的とした取り組み	給付金・助成金などの申請・受給	その他	合計
全国	33.7 (978)	36.5 (1,061)	47.5 (1,381)	14.5 (420)	52.1 (1,514)	38.8 (1,128)	24.2 (702)	13.6 (395)	17.9 (519)	17.5 (507)	2.4 (70)	- (2,905)
島根	34.8 (8)	34.8 (8)	17.4 (4)	17.4 (4)	60.9 (14)	39.1 (9)	21.7 (5)	13.0 (3)	26.1 (6)	13.0 (3)	8.7 (2)	- (23)
大企業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	- (1)
中小企業	36.4 (8)	36.4 (8)	18.2 (4)	18.2 (4)	59.1 (13)	36.4 (8)	18.2 (4)	13.6 (3)	27.3 (6)	13.6 (3)	9.1 (2)	- (22)
うち小規模	42.9 (3)	42.9 (3)	0.0 (0)	14.3 (1)	42.9 (3)	42.9 (3)	14.3 (1)	0.0 (0)	28.6 (2)	0.0 (0)	14.3 (1)	- (7)
建設	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	100.0 (2)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	- (2)
製造	25.0 (2)	37.5 (3)	12.5 (1)	25.0 (2)	62.5 (5)	25.0 (2)	12.5 (1)	12.5 (1)	12.5 (1)	12.5 (1)	0.0 (0)	- (8)
卸売	40.0 (2)	20.0 (1)	20.0 (1)	20.0 (1)	60.0 (3)	80.0 (4)	60.0 (3)	0.0 (0)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	- (5)
小売	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	- (1)
運輸・倉庫	66.7 (2)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	- (3)
サービス	25.0 (1)	50.0 (2)	0.0 (0)	25.0 (1)	75.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (1)	25.0 (1)	25.0 (1)	25.0 (1)	- (4)

注1：網掛けは、島根県の全体以上を表す

注2：全国の母数は、有効回答企業2,905社。島根は23社

3. 取り組む上での課題、「必要なスキルやノウハウがない」が35.4%でトップ

島根県の企業に ■リスキリングに取り組む上での課題

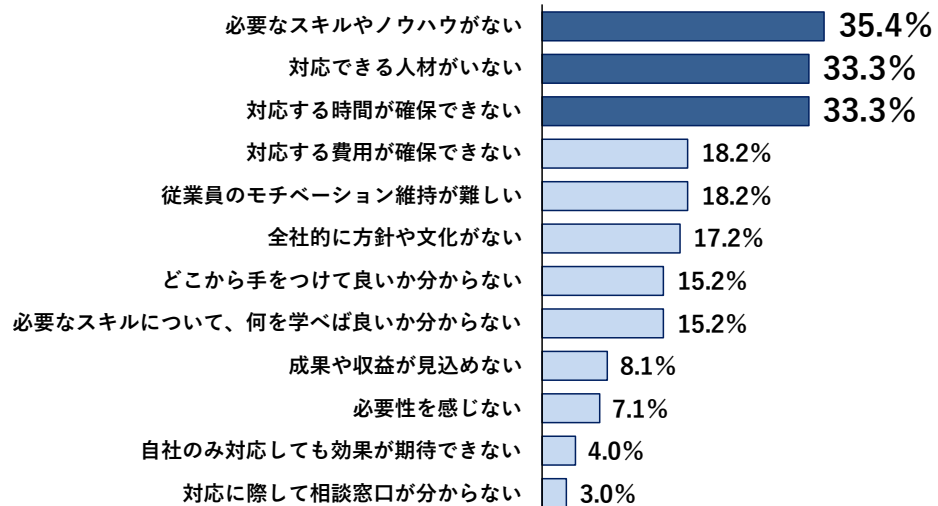
対して、リスキリングに取り組む上で課題を尋ねたところ、「必要なスキルやノウハウがない」が99社中35社、構成比 35.4%で最も高かった（複数回答、以下同）。

次いで、「対応できる人材がいなく
「対応する時間が

確保できない」がそれぞれ 33.3%（33 社）で 3 割を超えた。

以下、「対応する費用が確保できない」「従業員のモチベーション維持が難しい」がそれぞれ 18.2%（18 社）、「全社的に方針や文化がない」が 17.2%（17 社）、「どこから手をつけて良いか分からない」「必要なスキルについて、何を学べば良いか分からない」がそれぞれ 15.2%（15 社）となった。

そのほか、「成果や収益が見込めない」が 8.1%（8 社）「必要性を感じない」が 7.1%（7 社）、「自社のみ対応しても効果が期待できない」が 4.0%（4 社）、「対応に際して相談窓口が分からない」が 3.0%（3 社）で 1 割未満となった。



注：母数は、有効回答企業99社

■リスキリングに取り組む上での課題

（構成比%、カッコ内社数）

	対応できる人材がいなく	対応する費用が確保できない	対応する時間が確保できない	必要なスキルやノウハウがない	全社的に方針や文化がない	従業員のモチベーション維持が難しい	自社のみ対応しても効果が期待できない	成果や収益が見込めない	対応に際して相談窓口が分からない	どこから手をつけて良いか分からない	必要なスキルについて、何を学べば良いか分からない	その他	必要性を感じない	合計
全国	38.9 (4,332)	23.2 (2,578)	42.1 (4,690)	30.9 (3,444)	18.8 (2,092)	26.0 (2,895)	6.3 (704)	12.3 (1,370)	5.1 (573)	17.4 (1,940)	11.0 (1,225)	3.2 (360)	7.5 (833)	— (11,133)
島根	33.3 (33)	18.2 (18)	33.3 (33)	35.4 (35)	17.2 (17)	18.2 (18)	4.0 (4)	8.1 (8)	3.0 (3)	15.2 (15)	15.2 (15)	7.1 (7)	7.1 (7)	— (99)
大企業	66.7 (4)	50.0 (3)	50.0 (3)	50.0 (3)	50.0 (3)	16.7 (1)	0.0 (0)	16.7 (1)	0.0 (0)	16.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	— (6)
中小企業	31.2 (29)	16.1 (15)	32.3 (30)	34.4 (32)	15.1 (14)	18.3 (17)	4.3 (4)	7.5 (7)	3.2 (3)	15.1 (14)	16.1 (15)	7.5 (7)	7.5 (7)	— (93)
うち小規模	35.9 (14)	20.5 (8)	20.5 (8)	41.0 (16)	17.9 (7)	12.8 (5)	2.6 (1)	5.1 (2)	5.1 (2)	15.4 (6)	17.9 (7)	7.7 (3)	7.7 (3)	— (39)
農・林・水産	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	— (1)
建設	33.3 (4)	0.0 (0)	41.7 (5)	58.3 (7)	33.3 (4)	8.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	8.3 (1)	25.0 (3)	16.7 (2)	0.0 (0)	8.3 (1)	— (12)
不動産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	— (1)
製造	27.6 (8)	13.8 (4)	31.0 (9)	48.3 (14)	17.2 (5)	20.7 (6)	10.3 (3)	13.8 (4)	3.4 (1)	17.2 (5)	20.7 (6)	6.9 (2)	10.3 (3)	— (29)
卸売	34.8 (6)	21.7 (5)	34.8 (6)	21.7 (5)	13.0 (3)	17.4 (4)	0.0 (0)	13.0 (3)	0.0 (0)	13.0 (3)	4.3 (1)	17.4 (4)	4.3 (1)	— (23)
小売	46.2 (6)	38.5 (5)	23.1 (3)	23.1 (3)	7.7 (1)	7.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.7 (1)	15.4 (2)	23.1 (3)	0.0 (0)	7.7 (1)	— (13)
運輸・倉庫	25.0 (1)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (2)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	— (4)
サービス	33.3 (5)	20.0 (3)	40.0 (6)	33.3 (5)	13.3 (2)	26.7 (4)	0.0 (0)	6.7 (1)	0.0 (0)	6.7 (1)	13.3 (2)	6.7 (1)	6.7 (1)	— (15)
その他	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	— (15)

注1：開除けは、島根県の全体以上を表す

注2：全国の数値は、有効回答企業1万1,133社、島根は99社

まとめ

11月22日に発表した「山陰地区 人手不足に対する企業の動向調査（2024年10月）」によると、企業の約半数が正社員の不足を感じていた。こうしたなかで、政府が掲げる「人への投資」の本命ともいえるリスキリングに取り組んでいる企業は8.1%で、ごく一部にとどまった。リスキリングに取り組んでいる企業の取り組み内容としては、「従業員のスキルの把握、可視化」が60.9%で最も高かった。一方、取り組む上での課題では、「必要なスキルやノウハウがない」が35.4%、「対応できる人材がいない」「対応する時間が確保できない」がそれぞれ33.3%で上位を占めた。

時間や人材などリソースの確保や、モチベーションの維持といった課題の解消には、経営層を中心としたリーダー層による推進力や理解が必要である。リスキリングを行うことで何が得られるのかを示し、従業員のキャリアビジョンに寄り添い合意を得ながら、進めることが大切である。

【企業からの声】

- ・未経験者や職種変更者に対して専門知識や資格などの講習会への参加奨励費用の負担を行っている（電気工事）
- ・正社員には、「キャリアコンサルティング」の資格を取得させ、訓練の中でコンサルティングを実施している（学習塾）
- ・社内のスキルアップ助成金制度を設けている（放送業）
- ・あらゆる資格試験に取り組むことを推奨しており、全社員が年間で約2種類の新資格を取得している。仕事をしながら講習や受験勉強に取り組む姿勢は前向きで、全員が競争心を持って挑戦している。また、資格を取得するごとに「資格手当」を毎月支給しており、実質的にはこれが毎年の昇給に繋がっている。この制度にモチベーションを感じている社員が多く、活気ある職場環境が形成されている（機械・器具卸売）
- ・新しい技術の習得によって、転職が容易になりそうで危機感を抱いている（飲食料品製造）
- ・スマートフォンでも利用できる生成AIは、今後成長が期待される産業だと思う。時代についていきたいと考えている（繊維製品小売）

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 松江支店 担当：渡邊

TEL：0852-21-2775 FAX：0852-21-2125

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。